

自律神経解析分科会のお知らせ



平成20年3月

拝啓 寒さもようやく衰えはじめましたが、いかがお過ごしでしょうか。

自律神経解析プログラム MaP1060 をご利用の皆様の情報交換の場として、研究会を開くことになりました。約20年前に発足したNECメディカルシステム社のユーザーズ会を改名した“生体信号処理研究会”の“自律神経解析分科会”として開催致します。第1部ではプログラム開発者よりプログラムの基本から最新バージョン機能のご説明と、簡単な実演による心理負荷と運動負荷による自律神経指標の変化をご紹介します。第2部ではローレンツプロットによる解析方法を工夫され、自律神経指標であるCSI、CVIを提唱された京都大学の十一元三教授によるお話と、ご利用されている方々に具体的データを持ち寄って頂き、応用事例の紹介や解釈に関する質疑応答から、これらの指標がどの様に利用できるものかなど、ディスカッションの場といたします。このプログラム MaP1060 をご利用頂いている方々だけでなく、R-Rインターバルによる自律神経の解析に興味を持たれる多くの方々のご参加をお待ちしております。

敬具

記

日時 : 平成20(2008)年 3月18日(火) PM 3:00~PM 8:00 (9:00)

場所 : 京都教育文化センター 2階 203号室 (京都大学医学部 保健学科 の向いの施設です。)
京都市左京区聖護院川原町4-13 Tel: 075-771-4221
<会場案内> <http://www2.odn.ne.jp/kyobun/> 施設概要の末尾をご覧ください。

内容 : “R-R インターバルによる自律神経解析”をテーマに、十一教授のお話をはじめ、自律神経解析プログラム MaP1060 に関するレビューと実演、自律神経の各指標に関する事例報告から質疑応答による解釈法(利用技術)などの情報交換を行います。

● 第一部 自律神経解析プログラム MaP1060 のご説明

3:00 1-1 『基本機能とバージョンアップされた追加機能について』(開発の舞台裏話しを交え)

4:00 1-2 『基本的なデータの測定方法から解釈の仕方と注意点について』(簡単な実演デモによる)

ニホンサンテック株式会社 金子 秀樹

5:00 ***** 休憩 (個別フリーディスカッション) 30 分間 *****

● 第二部 自律神経解析をめぐって

5:30 2-1 『RR インターバルからローレンツプロットを利用した自律神経解析をめぐって』

京都大学 医学部 保健学科 十一 元三 先生

6:00 2-2 『具体的データを持ち寄ったディスカッション』(自律神経指標はどこまで利用できるか?)

各自律神経指標の実用・応用力を養う場となるよう、多くの方の提言や質問をお願いします。
次頁の要領で事前登録を募集いたしますので、皆様のご協力をお願いいたします。

同 十一教授、事前登録者様、参加者全員

8:00 (9:00) 終了予定 (ディスカッションにより9時まで延長いたします。)

参加費: 個人・学校の方 ¥1,000- (但し学生の方は無料です。)

企業・研究所の方 ¥2,000- <<お支払いは当日会場にてお願い致します>>

※お問い合わせやお申し込みは、下記のニホンサンテック社 内 事務局(金子、高田、山川)までお願い致します。

参加のお申し込みは、メール・ファックス・電話により、氏名、所属、連絡先電話番号、住所をお知らせ下さい。



MaP 生体信号処理研究会 自律神経解析分科会

ニホンサンテック株式会社 内 事務局

Mail: post@santeku-map.com

NST-MaP_HK#8305

〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通9番40号

Tel 06-6652-5984 Fax 06-7850-3671

●ご参加の皆さんへ提言・質問の事前登録のお願い。

★ 自律神経指標の解釈に関する **ご質問** と **事例紹介** をお願いいたします。

具体的な解釈に関するご質問や自律神経指標の事例紹介を募集いたします。
第2部 2-2 では、皆様の提言や質問があつてはじめて有意義な時間となるように企画しております。
今までご利用された経験から、MaP1060 で得られた自律神経指標(CSI、CVI、LF、HF、CV、etc)に関する具体的なデータを伴ったご提言やご質問をお願いいたします。

ご提言としては、

『このような解釈をするといい!』、『このような解釈は間違いだった!』、

『このように研究に役立った!』

ご質問や疑問としては、

『このデータは仮説とうりの結果が出ないが、何故か?』

『実態と解釈が思うようにいかない、どのように解釈すべきか?』

『思い通りの結果が出る場合と出ない場合がある。このデータでは何が問題か?』

など、どのような内容でも結構です。但し、自律神経解析を行われている方、これから行おうとされる方々にとって有意義なディスカッションとなる題材とさせていただきます。

初心者の方にとっては、十一先生はじめご参加の方々の知恵を借りる場となることを願っております。

●ご協力いただける方は次の①②③を簡単に示し(各1~3行程度)、事務局宛にお送りください。

- ① 自律神経解析(MaP1060プログラム)ご利用の目的。
- ② 具体的なデータの解釈例 又は、疑問・質問・提言。
- ③ 既に発表や公開されている場合のみその会合や文献の時期と名称。
- ④ 該当するMaP1060のデータそのもの。提議された題材のデータを皆さんで検討できるようにするため SAVE ALL 機能で保存されたファイル式をお願いいたします。
(データの送付方法は、後日、事務局より連絡させていただきます。)

※当日は簡単なご紹介の後、提議いただいたデータを元にフリーディスカッションを行う予定です。

※提言・質問については時間の都合で全て採用されない場合もございます。予めご了承ください。

※時間に余裕がある場合は当日の飛び入りも歓迎いたします。ご準備をお願いします。

・**MaP生体信号処理研究会** とは…

シグナルプロセッサの利用者が多かった関西地区のユーザーよりユーザーズ会発足の提案があり、当時の日本電気三栄 関西データ処理センター(後のNECメディカルシステム)が事務局となって、生体信号の計測処理に関連したプログラミング技術の紹介や情報交換を行うため年2~3回の開催をしていた会合である。会員からの要望により、内容が把握し参加しやすくするため会合の名称を『生体信号処理研究会』と改名された。これまで延べ10年間で23回開催され約840名(平均37名)の参加者がいる。現在はニホンサンテック社が事務局を行っているユーザーのための任意団体である。



・**ニホンサンテック株式会社** とは…

NEC メディカルシステムズの事業撤退後、生体信号計測処理システムの構築を継承すべく事業を始めた会社です。各地で独立した従来からの仲間と連携し、大学や各研究機関の生体計測から処理の道先案内人を目指し活動している。生体計測処理のソフトウェアの開発、各種関連セミナーの開催、計測コンサルティング、生体信号計測機器、医療機器、の販売を行っている。詳しくは、<http://www.santeku-map.com> をご覧ください。



MaP 生体信号処理研究会 自律神経解析分科会

ニホンサンテック株式会社 内 事務局

Mail: post@santeku-map.com

NST-MaP_HK#8305

〒545-0032 大阪市阿倍野区晴明通9番40号

Tel **06-6652-5984** Fax **06-7850-3671**